

【第3回 学校運営委員会報告】

1 開催日時 令和7年6月19日（木）
18:30～20:15

出席者：（学校関係者評価委員）中村徳子、青木建、松本順子

（学校運営委員）河野寛、小泉玲子、川田英明、菅野義英、

清家政巳、大角恵里、斎藤桐人、平間学

事務局：長田尚子、依田理恵子

2 議事録

（1）学校運営委員長挨拶

大学4年生は、高知県宿毛市の単学級や6クラスあるマンモス校での教育実習を終えようとしています。現場の先生方の熱意や想いが実習生にしっかりと伝わり、実習を楽しい、教員っていいな、と感じられるようになったとのことです。学校現場は厳しさだけでなく、楽しさも積極的に伝えていくべきです。

今後、新しい先生方も含めて「チーム学校」として、学校運営委員会なども巻き込みながら、学校をサポートしていくけるとよいと思います。

（2）校長より

①挨拶：ここ数日の暑さにより、休み時間に外で遊べない状況が続いている。これにより、子どもたちのフラストレーションが溜まっている可能性あります。一方で、屋外での活動が制限されているためか、怪我人の数は減少しているようです。水泳に関しては、先週は気温が低かったものの、今週は気持ちよく授業が実施できています。しかし、これ以上気温が上昇すると、プールに入ることも困難になることが懸念されます。

6月16日付で木村主幹教諭が昇任し、他区の副校長として着任されました。6月12日にお別れ会を実施しました。

②「今後の区立小・中学校地域運営学校を支える仕組みの考え方」に対する意見募集についての説明

③学校行事など

- 4年生の美術館見学では、5人グループに1人ボランティアが付き解説をしてくださったので、子どもたちが予想以上に熱心に鑑賞していました。
- 体力テストでは、大人数での練習時間が限られていたものの、子どもたちはよく頑張りました。
- 6年生は、ネットリテラシー醸成講座を受講しました。また、古典芸能鑑賞教室では、「附子（ぶす）」を事前の解説付きで鑑賞し、ワークショップで音付けを体験するなど、楽しみながら学習しました。
- 学校公開期間中に引き取り訓練、セーフティ教室も実施しました。特に今回の引き取り訓練は、低学年も教室での引き渡しとしました。子どもを移動させず、教室から一人ずつ引き渡す形式が良いとの判断からです。公開終了後、引き取り人の方には一度校庭に移動していただき、校外から来る想定で訓練を行ったところ、保護者の協力とルールの順守により、想定以上に円滑に終えられました。
- 代田小学校でのPTA2ブロック連絡協議会では各学校や地域の多様な取組から新たな課題や学びを得ることができ、有意義な時間となりました。
- 来週は川場移動教室が予定されており、高温が予想されています。
- 音楽イベントとして「エバリー」が来校し、子どもたちが喜びそうな曲を演奏する予定です。
- 5年生は水産業をテーマに探究的な学びを深める研究授業を行う予定です。
- 給食試食会が復活します。90名の応募があり、抽選で30名が参加し、実施する予定です。

【学校公開：授業について、参加された委員より】

- 授業が全体的に落ち着いていました。特に1・2年生の教室では、保護者の数が非常に多く、廊下にまで人が溢れていたことから、保護者の関心の高さが伺えました。
- 他のクラスの授業を参観した際の気付きとして、教室によって黒板の使い方や、子どもたちが疑問をもちらながら学びを進めるアプローチ、あるいは価値観を共有するアプローチがあり、それぞれが有効であると感じました。子どもたちが授業を「受ける」だけでなく、それをうまく活用して理解を深めることも重要になると思います。保護者も日々子どもたちの理解度を把握することで、単なる間違い（×）が意味のある間違いとなり、最終的に正解（○）につながっていく過程が見えてくるとい

う、家庭学習にも応用できると考えました。

【学校公開・引き取り訓練について、参加された委員より】

- ・校庭から校舎内への移動が非常に静かで整然としていました。来年も教室での引き取り形式を継続してほしいです。
- ・入校・退館時の待機列ができていた点が課題として挙げられます。公開終了後、受付で「ピッ」と操作をしてから校庭へ並ぶようにすることで、スムーズになると思います。

(3) ご意見・ご感想（一部抜粋）

小泉：ネットリテラシー醸成講座は6年生のみを対象としているのでしょうか。ネットリテラシーの必要性が下学年にも広がっている現状を踏まえ、今後さらに機会を増やしていくことが望されます。給食試食会については、「6年間のうちに一度は保護者に給食を食べさせてあげたい」という思いがあります。試食を通じて子どもたちとの会話が弾む良い機会であり、中学校でもPTA運営委員会の後に給食試食会が実施されました。地域行事としては、富士中学校隣の公園で7月19日と20日に納涼祭りが開催される予定です。また、ラジオ体操は、青少年代沢地区委員会が主催し、7月18日から21日までと、8月の終わりにも開催されます。

大角：通学路の安全に関する懸念、特に、給食門の先での解体工事が進行しており、この区間が現在非常に危険です。学校が下校ルートを変更したことについては、ありがとうございます。また、保護者にも定期的に通学路を確認し、安全確認を行うことが推奨されます。暑さにより、子どもたちが屋外で活動できない状況が続いている、BOPも同様の状況に直面しています。これにより、子どもたちの間にストレスが蓄積し、それが原因で衝突が増える可能性があるという懸念があります。

斎藤：「たもんサマーフェス2025」の開催について。今年のフェスは、暑さを考慮し、主に体育館で実施予定です。来週にはフライヤーが配布され、公式LINEでも詳細が流れます。

日時：7月19日（金）内容 ①14:00～17:00 体育館をダンスホールとして開放します。
②20:00～翌7:00 避難所体験を実施します。こちらは先着40組（児童は最大3名まで）です。PTA総会が、今回は35分という最短時間ながら対面形式で行われました。多くの学校が書面開催に移行する中で、多聞小学校PTAは「対面でやる意味」「やってよかったねと思える総会」を趣旨とし、その目的を達成できました。個人的な意見ですが、来年度以降も対面での総会継続を希望しています。また、PTAの組織自体が会員から遠い存在にならないよう、積極的にアプローチしていきたいです。

菅野：夏休みまで残り1ヶ月となり、多くのイベントが控える中で熱中症への懸念があります。特に、川場移動教室では山ヒルの存在も心配です。

清家：通学路の解体工事現場では、危険な状況を数回目撃し、警察に通報しました。下校時間直前にベニヤ板が飛んだり、ひどい粉塵が発生したりしていました。本来であれば交通誘導員が配置されるべきです。学校側から警察へ報告するとよいです。

川田：学校公開では、特に1年生の教室に保護者が入りきらないほどの盛況ぶりでした。給食試食会については、以前の参加経験から「おいしかった」という感想とともに、保護者にとって良い機会です。5年生の着衣泳について、服を着たまま泳ぐ訓練は重要です。洋服を着て泳ぐことの困難さを経験できるのはよいです。水難事故で助けに行った方が亡くなる事例があるので、経験することの大切さを学んでほしいです。

河野：着衣泳は重要。実際には冬服を着用し、ペットボトル1本で5分間水に浮いていられることが、命を救う上で非常に重要です。多くの子どもたちは1分すら浮いていられないのが現状で、この練習は「やってみないとわからない」。地域の解体工事現場のように、学校や教員だけでは把握しきれない安全上の問題があるため、学校運営委員会の存在が非常に役立ちます。また、社会の国際化が進む中で、これまでの「我々の文化的常識が通用しない」場面が増えています。最後に、大学の防災研究所と学校をつなぐことは可能です。必要であればお声かけください。